

# 带状疱疹を知ろう

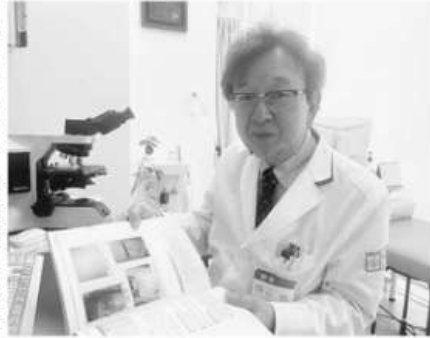
④ 専門医に聞く

発疹や水疱が現れ、ちくちくした痛みやかゆみが出る带状疱疹。水ぼうそうウイルスを持っていても発症する可能性があり、治療が遅れると、神経痛や

まひなど後遺症のリスクもあるそうです。専門医や実際にかかった人に治療法や症状を尋ねると、この病気の怖さが見えてきました。

(藤松奈美)

## 早期の服薬、重症化防ぐ



「带状疱疹ウイルスの増殖をいかに早く抑えるかが治療の鍵」と強調する小西医師  
(京都市下京区・小西皮膚科クリニック)

にも要注意とする。腹部や足に出る、運動神経が損傷した場合、腹部がふくれたり、こげやすくなったりすることがある。目や耳の周りに出ると失明や難聴につながったり、平衡感覚がなくなってしまうこともある。

「天にうとまれた心労からでしょうね」と想像する。带状疱疹の原因は過労やストレス、病気などの体調不良。「栄養のある食事、規則正しい生活、ストレス発散。かからないことが一番重要です」

## 局所麻酔、後遺症減らす



神経ブロック注射が効かない場合に行う「脊髄刺激治療」のシミュレーション。井福医師は「早期に痛みを取る」ことが重要と話す  
(京都市中京区・井福ペインクリニック)

痛みがひどかったり、残ってしまった場合はどうすればいいか。順天堂大医学部付属病院(東京都)で勤務した後、中京区でペインクリニックを開く井福正貴医師(44)は「高齢になるほど、後遺症のリスクは高い」と明かす。

痛みを取る治療法は発症の時期によって異なる。直後で鎮痛薬が効かない場合は「神経ブロック注射」を打つ。痛みが出ている神経の周りに局所麻酔薬を注射する方法で「炎症を早期に取る効果もあり、後遺症に移行しにくくなる。ためらわず相談して」と強調する。

発症後、1カ月が過ぎても痛みが残る場合は、抗うつ剤などの飲み薬を処方する。ただ、難しいのは副作用とのバランス。抗うつ剤は「うつ」や「眠気」が副作用として残ることがある。

肥大などを引き起こす可能性があるが、局所麻酔を点滴する治療法だ。副作用との兼ね合いで飲み薬をこれ以上増やせないが、痛みをコントロールできない場合に週1回行う。副作用はほぼなく、痛みを取る効果が高いという。「痛みを忘れる時間を横断したい」

ことが大事」とする。発症後1〜3カ月の間に、神経ブロック注射も飲み薬も効かない人に対して行うのが「脊髄刺激療法」。井福医師によると、取り入れられている病院はまだ少ない治療法だが、脊髄の硬膜外腔に細い電極を挿入し、脊髄に微弱な電流を流すことで異常な痛みの信号を脳に伝わりにくくする。2泊3日の入院で挿入し、約7週間電極を付けたまま生活するが、人によっては仕事することも可能という。

痛みは、気にはすれば気にするほど長引いてしまうこといい、井福医師は「死ぬ病気がない、死にたくない、死にたくない、死にたくない」と患者に声を掛けるときも多いという。「長引く痛みはうつ症状を引き起こし、生活の質を低下させる。あの手の手で痛みを和らげる方法を横断したい」

②は14日に掲載します

こまど 散歩 吉見順子

家の近くにある学校の校門の所に、桜の木が一本あります。雨の降らないかぎり、私はその道を毎日20分ほどかけて散歩に出かけます。

桜の花が次から次へと咲き、見事に満開になりました。道で近所の役員さんに会って話をしていると、今日の日曜日(歌のついで)があるそうです。一度行ってみようかなと心が明るくなりました。1人暮らしの老人に何かと面倒を見てくださり、役員さんたちに頭が下がります。

今日も一日無事に暮らせて幸せを感じて、お地蔵さんに手を合わせ、お参りして家路に就きました。

(京都市石京区・86歳・主婦)

「いかに早くウイルスの増殖を抑えるかが鍵」と断言するのは、京都市立病院(中京区)で22年勤務し、2017年に下京区で皮膚科クリニックを開業した小西啓介医師(64)。これまで千人以上の带状疱疹患者を診てきた。

子どもの頃にかかった水ぼうそうウイルスは、普段は神経の奥に潜んでいるが、過労やストレス、病气などで免疫力が落ちた時に再発する。それが带状疱疹の正体だ。50歳から感染リスクが大きく高まり、3人に1人はかかると言われている。

帯状疱疹を疑ってすぐ受診してほしいと呼び掛ける。治療法は抗ウイルス薬を1週間服用することだが、飲み始めるのが早いほど、神経の損傷が抑えられ、重症化を防げるからだ。

帯状疱疹自体は命に関わらないが、怖いのは後遺症。損傷した神経は元に戻らないため、痛みが長く残ってしまうリスクがある。痛みは記憶しやすい傾向が高く、痛みがあれば我慢せずに鎮痛剤を飲むことが重要という。小西医師は、抗ウイルス剤を処方した後、2〜3日後に再診し、痛みが緩和していなければ鎮痛剤を増やし、ひどければペインクリニックを紹介している。「初期に痛みを抑えることが肝心」と強調する。

加えて、発疹が出る部位